

後期計画の課題と事業方針について

市では様々な団体が独自の文化芸術活動を行っている。今後、文化芸術振興におけるスローガン「ひとが輝きつながる文化芸術のまち」に向けて、活動を更に活性化し市内外に広めていくためには、行政による包括的な計画に基づいた施策が必要である。このことから「育てる」「伝える」「つなぐ」「支える」を4つの柱として、施策を体系化することで、それぞれの文化芸術事業の目的と今後の展開を明らかにしている。

牛久市文化芸術振興審議会では、年度ごとの計画の進捗状況を検証する手段として事業評価を実施しており、前期（平成28年度から令和元年）における審議会委員からの提言を反映し、併せてコロナ禍による新しい生活様式に即するよう配慮した方策を後期に向けて講じる必要がある。

これらを鑑みて後期計画で施策に次の取り組みを追加し、文化芸術施策を強化することとする。

併せて、前期計画における課題の一つとなっていた12の中施策のバランスの偏りについては、市の上位計画である第4次総合計画や教育振興基本計画の期間ごとの重点施策に沿うために生じるものであることに鑑み、以後、年度のはじめに審議会で重点施策について説明することで評価の参考となるようにする。

課題認識	課題に対応した今後の取り組み
<p>① より深い学びの機会の提供 若年層世代の参加機会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども自ら本物に触れる機会や体験できるような文化活動をどのように実施していくか。 若い世代の関心をつかみ、参加意欲をかき立てるような方法手段をどのように取り入れていくか。 学校教育と社会教育との連携に更に注力すべき。 	<p>中施策・子どもの感性を育てる 今後の取り組み これまでの「参加する」「鑑賞する」を一步進め、他の学校（特別支援学校等）の生徒や、学年の違う生徒、高齢者施設・地域の人たちとの触れ合いを通じて、より深い学びの機会を提供していきます。</p>
	<p>中施策・次代を担う人材を育成する 今後の取り組み これまで文化芸術事業への参加が少なかった高校生から子育て世代は言うまでもなく全ての世代の人を対象として、伝統文化からアニメ等の現代文化まで、より幅広いジャンルの文化を取り入れ、手法を探りながら効果的な事業を展開していきます。近隣の先進的事例を参考に、県や近隣自治体・大学とも連携し人材育成を検討します。</p>
	<p>中施策・伝統文化に触れる機会を設ける 今後の取り組み 次世代への文化の継承として多様なジャンルの伝統文化親子教室を開催し、親子で伝統文化を体験できる機会を積極的に創出していきます。</p>
<p>② 団体間の連携と企画力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術事業の実施において、行政間や文化芸術団体間の連携・協力という視点が少ない。 各文化芸術団体の現状把握が完全ではない。 	<p>中施策・団体間の連携を強化する 今後の取り組み 行政間・団体間の連携の促進を図るため、文化芸術担当のコーディネート機能を強化していきます。</p>
	<p>中施策・企画力を育てる ・文化芸術コミュニティの形成を促進する 今後の取り組み 上記団体間連携により、分野を超えた新しい目線による魅力的な事業を積極的に企画・実施していきます。また、各団体の育成、団体間の連携強化による新たな文化芸術事業を介しコミュニティの形成を促進していきます。</p>

<p>③ 文化資料の保存活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所有する文化的資料は数多くあるが今後も継続的な収集保存が必要である。 ・収集しても公開するためのハード面が不足している ・アーカイブ化により閲覧できる体制が整っていない。 	<p>中施策・活動拠点の整備を進める</p> <p>今後の取り組み</p> <p>エスカード市民ギャラリー（仮称）を拠点に、文化財から現代の文化芸術資料までを活用し広く紹介する環境づくりを進めていきます。</p>
<p>④ 幅広い年齢層に対応した広報手段の開拓と情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい視点での話題づくりを基礎に情報発信に敏感となる必要がある。 	<p>中施策・郷土の歴史に親しむ環境を創出する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術に寄与した先人を顕彰する <p>今後の取り組み</p> <p>日本遺産に認定された牛久シャトーを核とし、日本のワイン文化を伝えるとともに、住井すゑ文学館等新たなサテライトの場所を開拓し、郷土の歴史と偉人について親しむ環境づくりを進め、郷土の愛着を醸成していきます。</p> <p>中施策・文化財を保護する</p> <p>今後の取り組み</p> <p>地域の歴史文化の特徴を理解するために必要な調査研究、及びデジタルデータでのリスト化、記録保存とその情報発信の検討をしていきます。</p> <p>中施策・広報を強化する</p> <p>今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙媒体での情報発信に加え、若年層に対するインターネットを媒体とした SNS 等の事業前後の情報発信手段を開拓・拡充していきます。